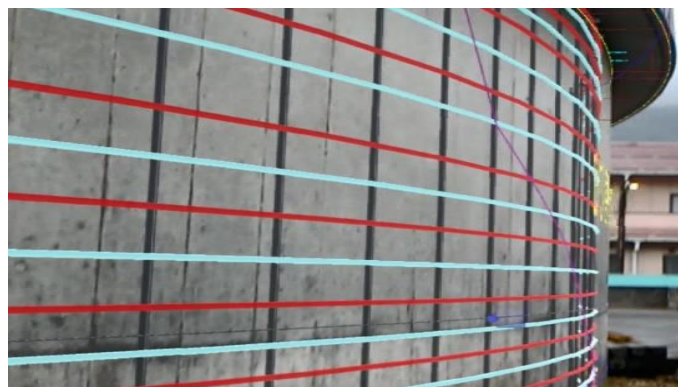
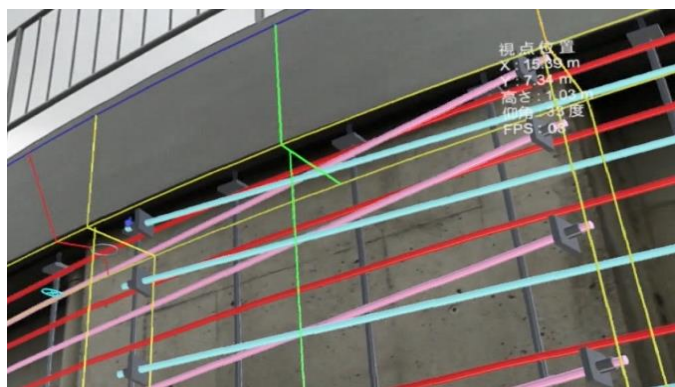
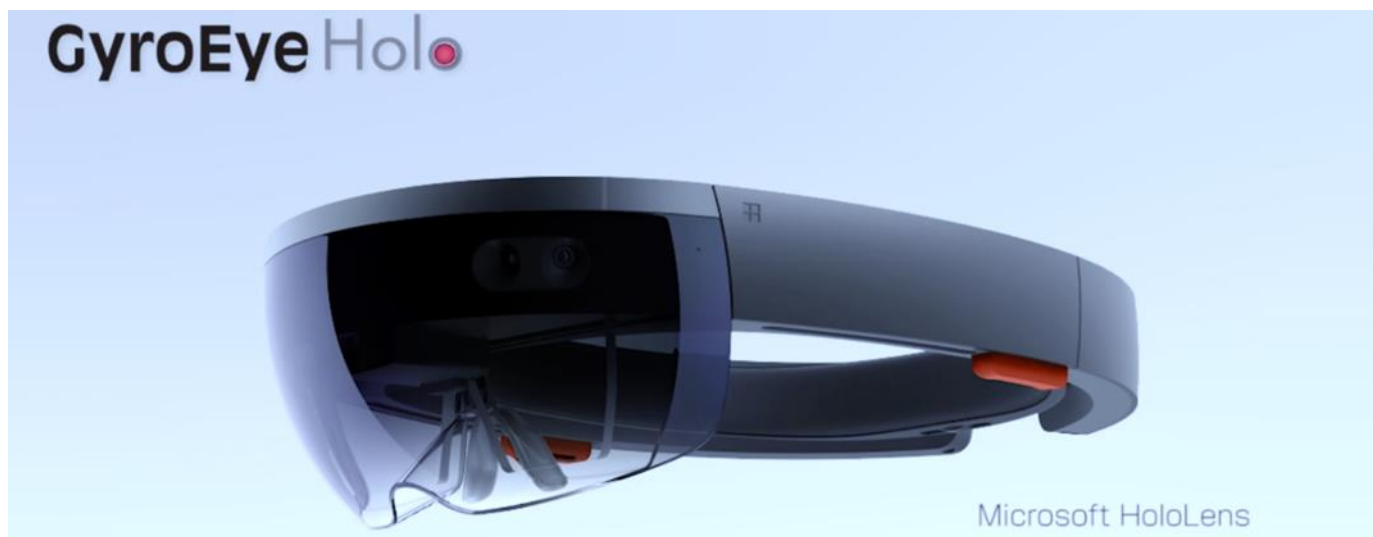


Mixed Reality が維持管理の未来を変える。

実構造物の表面上に調査記録などを重ね合わせ
現状と過去の対比を現場で可視化します。



PC タンク MR

GyroEye Holo Mixed Reality が現場の未来を変える。

GyroEye は CAD 図や3D モデルデータなどを元に AR/VR/MR 用のデータに変換し、スマートフォンやタブレット、スマートグラスなどのデバイスで活用するシステムです。プレゼンテーションやシミュレーション、構造物等の点検業務、遠隔コミュニケーション、関係者間での合意形成など、AR/VR/MR の活躍範囲は無限です。

データ変換からHoloLens表示までのフロー

① CADデータ取込



GyroEyeデータコンバータにCADデータを取り込みます。

② CADデータの表示位置定義



ARマーカとCADデータの相対的な表示位置の定義を行います。

③ データ変換

GyroEye CMS

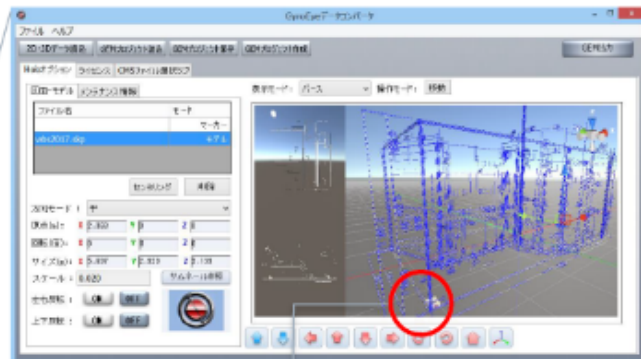
変換サーバ

変換サーバで自動的に変換処理を行います。変換されたデータは、所定のCMSサーバに格納されます。

④ HoloLens表示



HoloLens内のGyroEyeビューワアプリからログインの上、データをダウンロードし、CADデータが1分の1で現実世界に重畳表示されます。



ARマーカを立体図面の左端、通り芯付近に配置しています。この位置関係のままに、HoloLens越しに表示されます。

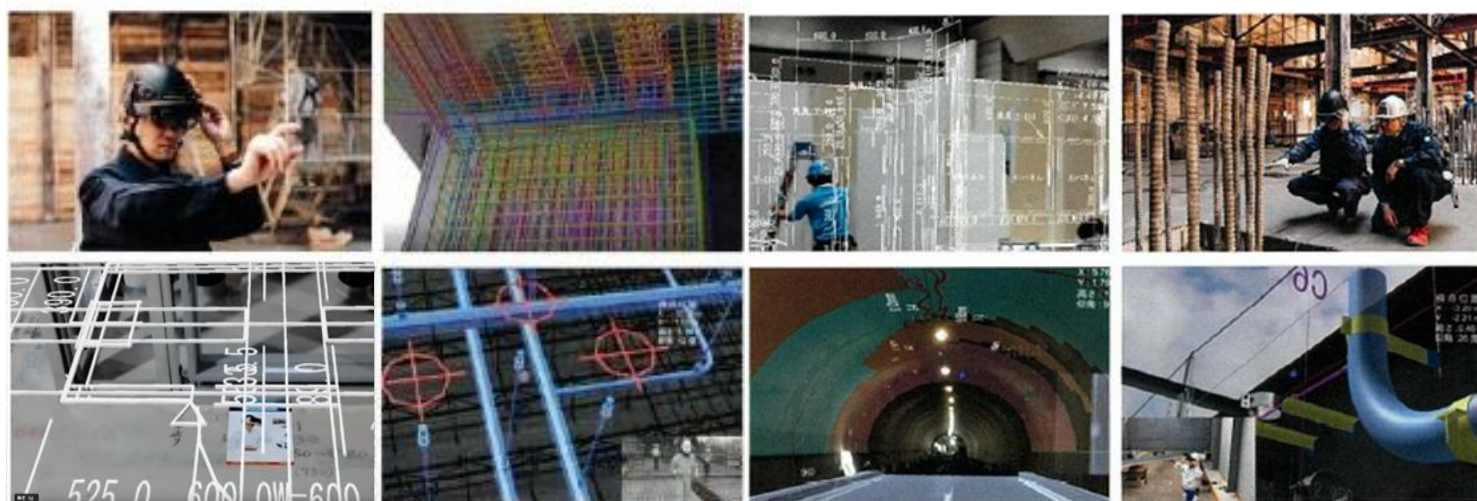
その他のコンバータ、CMS機能

- ・複数の図面や3Dデータを取り込む
- ・平面図の上に、立面、展開などを取り込み、立て起こして指定位置にレイアウトするなど
- ・メンテナンス用の情報埋め込み
- ・HoloLensで撮影した写真の取り込み

変換時間の目安

- ・ 500KBのDWG図面データは、およそ3分程
- ・ 30MBのFBXやSKPデータは、およそ5分程

※サーバの負荷状況や、データの作り方等によって時間は異なります



お問合せ

株式会社 安部日鋼工業

岐阜市六条大溝町 3-13-3

TEL : 058-271-3391

株式会社 インフォマティクス

川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ 川崎セントラルタワー 27F

TEL : 044-520-0850